

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2025年			
9月	17日(水)～19日(金) 第28回日本水環境学会シンポジウム	富山	48巻8号
	29日(月)～10月3日(金) 10 th IWA-ASPIRE Conference	ニュージーランド	本号
10月	20日(月) 環境技術学会第25回年次大会および講演会	大阪	本号
	25日(土)～26日(日) 日本腐植物質学会第41回講演会	岡山	本号
	31日(金) 有機フッ素化合物等の化学物質を巡る課題と技術革新の現在地	東京	本号
11月	4日(火) グリーンサイエンス21 第15回「みんなの水道」(水の文化を語る)	東京	本号
	12日(水), 13日(木) 第38回日本吸着学会研究発表会	大分	本号
	28日(金) 令和7年度日本水環境学会中部支部研究発表会および講演会	福井	本号
	29日(土) 公開シンポジウム: 「水辺のすこやかさ指標」のグローバルな取り組みを目指して	東京	本号
12月	12日(金) 第63回高分子と水に関する討論会	東京	48巻8号
2026年			
3月	9日(月)～11日(水) 第60回日本水環境学会年会	東京	本号
7月	WET2026 (Water and Environment Technology Conference 2026)	京都	

会員登録データ変更の届け出について（お願い）

住所、所属変更等、本会に登録されているデータに変更のあった場合には、ホームページの会員専用ページ（<https://www.jswe.or.jp/member/>）よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方、登録アドレスを忘れた方は、メール（member@jswe.or.jp（@は半角））またはFaxにてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎（4月→3月）の扱いで、退会のお手続きがない場合には、自動的に会員登録が継続となります。なお、学生会員は年度ごとの資格ですので、2024年度の学生会員は2025年3月末日に失効になりました。

また2013年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は、満65歳以上で、水環境関連分野に従事、または関心を有し、本会に対し功労のあった個人を対象とするもので、学会コミュニティにおいて、継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会WEBサイト（<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>）をご覧ください。

本会関連行事

第60回 日本水環境学会年会開催のご案内

次の要領で開催いたします。

会員システム切り替えにともない、研究発表申込および参加申込方法など大幅に変更いたします。

詳細につきましては、9月下旬～10月初旬に本会ホームページに掲載予定です。

概要

内容 一般研究発表

(口頭発表およびポスター発表セッション)

期 日 2026年3月9日(月)～11日(水)3日間

会 場 中央大学 多摩キャンパス (対面開催のみ)
〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

交 通 多摩モノレール『中央大学・明星大学駅』直結
徒歩0分

詳細は <https://www.chuo-u.ac.jp/access/tama/>

「年会優秀発表賞(クリタ賞)」候補者の募集

第60回日本水環境学会年会において、博士前期課程(修士課程)の大学院生を対象とした年会優秀発表賞受賞候補者を募集します。多数の方々の応募をお待ちしております。この賞は「公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団」殿のご出捐(ご寄付)により実施するものです。

開催方法によっては審査方法、表彰方法に変更がある可能性があります。

表彰の趣旨 研究意欲の啓発を目指し、博士前期課程(修士課程)の大学院生を対象として、優秀な研究成果発表を表彰します。

表彰対象者 年会において口頭発表を行う博士前期課程(修士課程)在学の学生会員に限り、対象者以外の申し込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

応募方法 本会ホームページをご覧ください。

問い合わせ先

(公社)日本水環境学会 年会優秀発表賞(クリタ賞)係
Tel: 03-3632-5351

E-mail: nenkai@jswe.or.jp

「年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)」 候補者の募集

第60回日本水環境学会年会において、学部生、高等専門学校生(高専生)、短大生を対象とした年会学生ポスター発表賞の受賞候補者を募集します。多数の方々の応募をお待ちしております。この賞は「ライオン株式会社」殿のご出捐(ご寄付)により実施するものです。開催方法によっては審査方法、表彰方法に変更がある可能性があります。

表彰の趣旨 研究意欲の啓発を目指し、学部生、高専生、

短大生を対象として優秀なポスター発表を表彰します。

表彰対象者 年会においてポスター発表を行う大学学部、高等専門学校、短期大学在学の学生会員に限り、対象者以外の申し込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

応募方法 本会ホームページをご覧ください。

問い合わせ先

(公社)日本水環境学会

年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)係

Tel: 03-3632-5351

E-mail: nenkai@jswe.or.jp

海外在住外国人会員の年会発表に対する 費用助成制度「国際招聘賞」

JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award

第60回 日本水環境学会年会の助成対象者の募集

本会では、水環境分野の国際交流・国際協力の促進を目的として、本会年会で研究発表を行う海外に在住する外国籍の個人会員・国際連携会員に対して、来日費用等の助成を行っています。

2026年3月に中央大学多摩キャンパス(東京都)で開催される第60回年会での研究発表予定者から、助成の対象者を下記のとおり募集します。奮ってご応募ください。

この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐(ご寄付)により実施するものです。

応募方法等の詳細につきましては、WEBページにてご確認ください。

問い合わせ先

Committee on Overseas Member Invitation Program
Japan Society on Water Environment

E-mail: kokusai@jswe.or.jp (@は半角)

令和7年度 日本水環境学会中部支部研究発表会 および講演会の開催

日本水環境学会中部支部では支部会員および関連団体の技術研鑽と情報交換を目的に令和7年度日本水環境学会中部支部研究発表会および講演会を下記のとおり開催します。とくに、大学学部生、大学院生、若手の社会人研究者の方々のご発表を歓迎します。優秀なポスター発表に対しては表彰を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

主催 日本水環境学会中部支部

期 日 2025年11月28日(金) 12:30～16:30

場 所 福井県国際交流会館

(福井県福井市宝永3丁目1-1)

プログラム

- 12:30～ 研究発表会
 14:30～ 講演会「自然の機能を活用した環境負荷低減
 -埋立地浸出水, PFAS等への適用に向けて
 - (仮)」 国立研究開発法人国立環境研究
 所 尾形 有香氏
 16:00～ 研究発表会表彰式

参加申し込み方法

申込書等はメールで以下へご請求ください。

参加申込締切

- 発表申込：9月24日(水)～10月24日(金)
 参加申込：9月24日(水)～11月7日(金)

参加費 無料(ただし、事前申込みが必要です。)

問い合わせ先

日本水環境学会中部支部事務局
 (福井県衛生環境研究センター)
 〒910-8551 福井県福井市原目町 39-4
 Tel: 0776-54-5648 Fax: 0776-54-6739
 E-mail: zenkanken-f@pref.fukui.lg.jp

**公開シンポジウム：「水辺のすこやかさ指標」の
グローバルな取り組みを目指して**

- 主 催** 日本水環境学会東北支部水辺のすこやかさ指
標研究会・関東支部
共 催 公益財団法人 水・地域イノベーション財団
期 日 2025年11月29日(土) 13:00～17:00
場 所 TKP 東京駅カンファレンスセンター・カンフ
ァレンスルーム 10B
開催形式 対面とオンラインのハイブリッド形式
参加お申し込みの方に後ほどオンライン
(Zoom)の接続先をメールでお知らせします。

プログラム**【開会挨拶】**

日本水環境学会東北支部水辺のすこやかさ指標研究会
代表 矢野 篤男

【基調講演】 13:05～13:55

『英語版“Water Environment Soundness Index (MIZU-SHIRUBE)”の活用に向けて』

中央大学 古米 弘明

『みずしるべの普及に向けた環境省における検討状況』
環境省 鍛冶 尚寛

【話題提供】 13:55～15:50

『ボリビアにおける水辺のすこやかさ指標の適用の可能性』
東北大学・JICA 根立 隆志

『インドにおける水辺のすこやかさ指標の活用事例』
(株) 日水コン 前田 千夏

水・地域イノベーション財団 清水 康生
『ベトナムにおける水辺のすこやかさ指標の適用の可能性』
元北九州市水道 原口 公子

～ 休憩 (15 分) ～

『横浜市における取組について』

横浜市 田中 康平

『水辺のすこやかさ指標の課題と展望について』

山梨県立大学 風間 ふたば

■《総合討論》 15:50～16:50

司 会

中央大学 古米 弘明

閉会挨拶 16:50～17:00

日本水環境学会関東支部長 中央大学 西川 可穂子

参 加 どなたでも参加は自由です

参加費 無料

交流会 シンポジウム終了後に開催を予定しています

詳細 URL <https://jswetohoku.jp/>

参加申し込み・問い合わせ先

東北工業大学都市マネジメント学科 矢野篤男

E-mail: yano-t@tohtech.ac.jp Tel: 022-305-3961

IWA 関連行事**10th IWA-ASPIRE Conference**

期日：2025年9月29日(月)～10月3日(金)

場所：クライストチャーチ、ニュージーランド

詳細 URL： <https://www.iwaaspire2025.org/>

他学会関連行事**環境技術学会 第25回 年次大会および講演会**

2025年度環境技術学会は、会員のみならず非会員でも可能で、日本水環境学会・廃棄物資源循環学会の方は、会員料金で参加できます。

主 催 環境技術学会

共 催 日本水環境学会関西支部、
廃棄物資源循環学会、大阪工業大学

期 日 2025年10月20日(月) 9:30～(受付 9:00～)

場 所 大阪工業大学大宮キャンパス

プログラム

- ・発表：口頭発表 56 件、紙上発表 4 件
- ・セッション：4 会場で並行開催されます。汚水処理／水道／汚染物質／地球環境／土・水環境／資源循環／水環境／廃棄物／実務・社会貢献、など 14 セッション
- ・特別講演：綾 史郎大阪工業大学名誉教授「淀川上牧(かんまき)・鶴殿(うどの)ヨシ原の再生」(特別講演だけの聴講も、会員 1,000 円、非会員 2,000 円で可能)
- ・表彰式・閉会式・懇親会

聴講申込 下記 URL にて 10月10日までに申し込みください

参 加 費 一般会員 6,000 円、学生会員 4,000 円、非会員 10,000 円で、懇親会は、学生会員 3,500 円、一般 7,000 円。(いずれも事前入金の場合で、

当日は+1,000円となります)

詳細 URL http://jriet.net/blog_taikaiinkai/

問い合わせ先 環境技術学会大会委員会

E-mail: taikai_info@jriet.net

日本腐植物質学会 第41回 講演会

主 催 日本腐植物質学会

協 賛 日本土壌肥料学会, 日本水環境学会など

期 日 2025年10月25日(土)～10月26日(日)

場 所 岡山理科大学 50周年記念館(岡山県岡山市)

プログラム

- ・企画講演「若手腐植物質研究者が今、聞きたい：質量分析への学際的アプローチ」詳細はウェブサイトをご覧ください
- ・一般講演(口頭発表およびポスター発表)

申し込み方法

講演題目(口頭・ポスターの別), 発表者, 所属, 連絡先を明記の上, 下記へE-mailにてお申し込みください

参加申込締切

一般講演申込締切: 9月30日(火)

参加事前登録締切: 10月10日(金)

参加費 会員2,500円, 非会員5,000円(要旨集代を含む)

詳細 URL <https://www.humic-substances.jp>

問い合わせ先

第41回講演会実行委員長 杉山裕子

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1

岡山理科大学理学部水圏化学研究室

E-mail: yuko-sugiyama@ous.ac.jp

有機フッ素化合物等の化学物質を巡る課題と技術革新の現在地

主 催 国立研究開発法人 産業技術総合研究所

共 催 産業技術連携推進会議 環境・エネルギー部会, 環境・エネルギー分科会, PFAS対策技術コンソーシアム

期 日 2025年10月31日(金) 13:00～17:15

場 所 産総研臨海副都心センター別館11階会議室
(東京都江東区青海2-4-7)

プログラム 近年、残留性や難分解性を有する化学物質による環境および健康へのリスクに対する関心が高まる中、とりわけ一部の有機フッ素化合物は、国際的にも優先的な対応が求められる化学物質群として注目されています。本講演会では、有機フッ素化合物等の化学物質を取り巻く現状に対し、計測技術、分解・処理技術、化学物質管理に関する視点から、環境と産業の共生に向けて求められる最新の研究成果や技術・政策動向を紹介します。

参加申し込み方法 以下URLをご参照ください

参加申込締切 2025年10月22日(水) 17:00

参加費 無料

詳細 URL <https://unit.aist.go.jp/env-mri/kouenkai/2025/index.html>

問い合わせ先 産業技術総合研究所 環境創生研究部門
研究発表会事務局

〒305-8569 茨城県つくば市小野川16-1

E-mail: M-EMRIsympo-ml@aist.go.jp

グリーンサイエンス21

第15回「みんなの水道」(水の文化を語る)

主 催 グリーンサイエンス21

協 賛 日本水道協会ほか

期 日 2025年11月4日(火) 13:00～17:00

場 所 全水道会館(JR水道橋駅徒歩5分)

プログラム

講演1 「ハーバード大学学位修得後、イタリア各地区の調査」

音楽学者 国際基督教大学名誉教授 金澤 正剛 氏

講演2 「現代日本の上下水道とローマ帝国の上下水道の比較」

京都大学名誉教授 松井 三郎 氏

申し込み方法 連絡先を明記の上, 入金方法は下記事務局へ問い合わせください。

締め切り 定員150名になり次第(要事前登録)

参加費 3,000円

問い合わせ先 NPO法人グリーンサイエンス21事務局

留守電&FAX: 03-3952-1121

詳細 URL: <http://www.npo-gs21.org>

第38回 日本吸着学会研究発表会

主 催 日本吸着学会

協 賛 化学工学会

期 日 2025年11月12日(水), 13日(木)

場 所 J:COM ホルトホール大分

(大分県大分市金池南1丁目5-1) 大分駅前

詳細 URL <https://www.j-ad.org/annual-meeting38/>

参加申込締切&参加費

事前登録(一次): (9月26日(金)まで)

日本吸着学会・協賛学会会員(官・学・産): 7,000円,
学生: 3,000円

非会員(官・学・産): 10,000円, 学生: 4,000円

事前登録(二次): (10月31日(金)まで)

日本吸着学会・協賛学会会員(官・学・産): 8,000円,
学生: 4,000円

非会員(官・学・産): 12,000円, 学生: 5,000円

問い合わせ先

第38回日本吸着学会研究発表会 実行委員会

〒870-1192 大分県大分市大字旦野原700番地

大分大学 理工学部理工学科 生命・物質化学プログラム 近藤 篤

Tel: 097-554-7896

E-mail: adsorption2025@oita-u.ac.jp

おしらせ

2025年度「水環境文化賞」の推薦募集について

水環境文化賞は水環境の保全・創造に関する社会文化活動が顕著である団体あるいは個人に贈られます。自薦、他薦は問いません。詳細は以下、学会事務局にお問い合わせください。受賞者は2026年3月の日本水環境学会第60回年会にて表彰予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。

被推薦資格 水環境の保全・創造に関する社会文化活動に積極的に取り組んでいる団体あるいは個人。本会の会員／非会員は問いません。

応募方法 学会ホームページより応募用紙をダウンロードし、以下1)～6)の必要事項を記入の上、7)活動を示す資料とあわせて以下の提出先に送付ください。以下のE-mailへの電子ファイルでの提出をお願いします。電子ファイルとすることが困難な場合はご相談ください。なお、評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

- 1) 被推薦団体名或いは被推薦者氏名、連絡先住所、電話番号、E-mail アドレス
- 2) 活動概要(300字以内)
- 3) 対象とする社会文化活動
- 4) 広報活動など(200字以内)
- 5) 推薦者の推薦理由(500字程度)
- 6) 推薦者の氏名、所属、住所、電話番号、E-mail アドレス(自薦も可)
- 7) 活動を示す資料(複数でも可。ただし、電子ファイル合計40ページ以内)

提出期限 2025年9月18日(木)(必着)昨年度から、締め切りを2週間ほど早くしているのでご注意ください。

提出・問い合わせ先(学会事務局)

(公社)日本水環境学会「水環境文化賞」係

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

Tel: 03-3632-5351 Fax: 03-3632-5352

E-mail: award@jswe.or.jp

2025年度「水環境文化賞児童・生徒の部
(みじん子賞)」の推薦募集について

水環境文化賞児童・生徒の部(みじん子賞)は地域の水環境保全・創出に貢献した小・中・高校生のグループに贈られます。例年、年会開催予定地の地区から選出され、本年度は関東支部エリア(茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・山梨県・長野県)が対象となります。自薦、他薦は問いません。詳細は以下、学会事務局にお問い合わせください。受賞者は2026年3月の日本水環境学会第60回年会にて表彰予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。

被推薦資格 地域の水環境保全・創出に努力している小

学生、中学生もしくは高校生のグループ等。本会の会員／非会員は問いません。

応募方法 学会ホームページより応募用紙をダウンロードし、以下1)～6)の必要事項を記入の上、7)活動を示す資料とあわせて以下の提出先に送付ください。以下のE-mailへの電子ファイルでの提出をお願いします。電子ファイルとすることが困難な場合はご相談ください。なお、評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

- 1) 被推薦団体名或いは被推薦者氏名、連絡先住所、電話番号、E-mail アドレス
- 2) 活動概要(300字以内)
- 3) 対象とする社会文化活動
- 4) 広報活動など(200字以内)
- 5) 推薦者の推薦理由(500字程度)
- 6) 推薦者の氏名、所属、住所、電話番号、E-mail アドレス(自薦も可)
- 7) 活動を示す資料(複数でも可。ただし、電子ファイル合計40ページ以内)

提出期限 2025年9月18日(木)(必着)昨年度から、締め切りを2週間ほど早くしているのでご注意ください。

提出・問い合わせ先(学会事務局)

(公社)日本水環境学会「水環境文化賞」係

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

Tel: 03-3632-5351 Fax: 03-3632-5352

E-mail: arawd@jswe.or.jp

2025年度「名誉会員」の推薦について

名誉会員は、水環境関連分野の学術の発展に功績があった、あるいは本会に対しとくに功労があった満70歳以上の会員を、総会の承認を得て推戴します。本会名誉会員推薦内規により、会員は名誉会員候補者を推薦できることになっております。

なお、海外在住の外国人会員も名誉会員の対象となっております。詳細につきましては、学会事務局にお問い合わせください。

2025年度「学会賞」、「学術賞」
の受賞候補者の推薦について(募集)

これらの賞の選考については、それぞれの選考委員会に対し、会員による推薦制度を設けております。下記のとおり会員各位からのご推薦を期待しています。なお、学術賞に関しては、年齢制限はありません。詳細につきましては、学会事務局までお問い合わせください。

<学会賞>

本会の発展に貢献あるいは水環境に関わる分野において、とくに優れた功績を認められた会員に贈られます。

1. 被推薦資格: 本会の会員にして、受賞年度(2025年度)において満60歳をこえる者

2. 提出書類：①被推薦者の氏名，住所，所属，略歴等，②推薦理由書（2,000字以内），③参考資料等，④推薦者の氏名，住所，所属

〈学術賞〉

水環境に関わる一連の論文，著作，学術的研究成果がとくに優れた会員に贈られます。

1. 被推薦資格：本会の会員であること。年齢制限はありません。
2. 提出書類：①被推薦者の氏名，住所，所属，略歴等，②対象とする研究成果，③推薦理由書（2,000字以内），④参考資料等（論文，著作の一覧等），⑤推薦者の氏名，住所，所属

※それぞれの賞についての提出書類の書式は自由です。

なお，参考資料の論文，著作の一覧は査読つき論文，学会プロシーディングス，解説，著作などを明確に整理し，推薦理由書等の資料は電子媒体での提出をお願いします。

提出期限 2025年11月28日（金）

提出先

（公社）日本水環境学会「学会賞」，「学術賞」係
E-mail：award@jswe.or.jp

2025年度「技術賞」および「技術奨励賞」 候補者の推薦について（募集）

本会では，以下に示したような技術賞および技術奨励賞を設け，対象となる個人または団体を毎年表彰しております。受賞者（または団体）は，本学会誌ならびに学会HPに受賞者（または団体）名とその技術の受賞理由等についての記事が掲載され，その功績が広く周知されます。

つきましては，下記の要領にて，会員からの技術賞もしくは技術奨励賞候補者の推薦をお願い申し上げます。「推薦」は自薦他薦を問いません。選考委員会にて，推薦内容を十分審議の上，技術賞，技術奨励賞いずれかの相応性も含めて選考されます。

●技術賞

水環境に関する調査研究または水環境技術に関して顕著な功績をなした個人または団体に授与されます。選考にあたっては，技術（調査内容，方法）の新規性や実績（たとえば処理技術の場合には実機実績等）等を加味して総合的に判断されます。

●技術奨励賞

水環境に関する調査研究または水環境技術が独創的であり将来を期待される個人または団体に授与されます。選考にあたっては，技術や調査研究の新規性のほか，学会発表や論文等で発表した成果や調査事例，パイロット試験結果等を加味して総合的に判断されます。

被推薦者・推薦者の資格

本会正会員または団体正会員およびこれに所属する個人
提出書類

「技術賞・技術奨励賞提出書類様式」を学会HPよりダウンロードしてお使いください。また，各書類はpdfファイル形式で提出先メールアドレスへお送りください。

<https://www.jswe.or.jp/awards/gijutsu/index.html>

- (1) 被推薦者の氏名，住所，所属（団体の場合は名称および代表者名），電話番号，E-mail，略歴等（連名の場合，被推薦者の役割分担を明記）
- (2) 対象とする技術または調査研究名（40字以内）
- (3) 推薦理由（①技術内容（調査内容），②開発背景，③従来技術および優位性，④技術賞では当該技術の実用実績，技術奨励賞では当該技術の実用化への取り組みまたは当該調査研究に関して期待される社会貢献について記載：2,000字以内）
- (4) 推薦者（氏名，住所，所属，電話番号，E-mail等）
- (5) 参考資料等（文献，特許，新聞記事等）

提出期限 2025年11月17日（月）

提出先

（公社）日本水環境学会「技術賞および技術奨励賞」係
E-mail：award@jswe.or.jp

なお，過去の技術賞および技術奨励賞受賞テーマ一覧および歴代受賞者を下記URLの学会HPに掲載しています。

<https://www.jswe.or.jp/awards/gijutsu/prizewinner.html>

「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」の募集

本会では，水環境分野での国際交流・国際協力の促進を目的として，本会の活動趣旨に沿っており，かつ優れた国際的な活動として選定されるものを「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」として顕彰し，その費用の一部または全額を助成いたします。助成の対象者を下記のとおり募集いたします。奮ってご応募願います。

なお，この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

〈募集の手引き〉

応募資格 本会の個人正会員

助成対象 本会の活動趣旨に沿った優秀な国際的な活動に対して助成を行う。活動主体は個人，チーム，研究委員会などの団体のいずれでも構わない。活動例としては，1) 海外での調査・研究活動，2) 海外または国内での，海外の話題を対象としたシンポジウムや出版等の研究情報の普及・交流活動，3) 海外または国内での，国際的なシンポジウム等の研究集会（オンライン含む）の開催，4) その他，本会・学会員の国際化の進展に資すると考えられる活動等。

助成内容（具体的な使途の例）

- ・調査・研究に係る消耗品等の支出
- ・研究集会等の開催費用（別予算との併用可）

- 国際共同研究の成果をまとめた書籍等の出版にかかる費用（編集作業等の外注費含む、ただし営利目的の出版物は不可）
 - 物品の購入、ストレージ、輸送等にかかる費用
 - 旅費（別予算による出張等に付随して発生する場合を含む）
- いずれについても、国際的な研究活動であり、本賞による支援の必要が明らかであること。

助成金額 総額 30 万円

助成期間 受賞から 2 年間以内

助成対象件数 原則として 1 件

応募締切・方法・提出書類等の詳細につきましては、WEB ページでご確認ください。

合否通知 選考結果については、2026 年 2 月までに応募者に通知いたします。

その他 受賞者は 2026 年 3 月の年会会場で表彰します。受賞者には、活動終了後、活動に関する報告書を作成し、学会へ提出していただきます。

茨城大学助教の公募

募集人員 助教（テニュアトラック）、1 名

所 属 学術研究院応用理工学野都市システム工学領域

専門分野 水環境学、上下水道工学

応募資格 博士の学位、または外国の Ph.D を有する方（取得見込みも可）。大学院および学部学生の指導に熱意を持って取り組める方。その他の資格については、以下の詳細 URL をご参照ください。

採用予定日 2026 年 4 月 1 日

応募方法 電子メールまたは郵送

応募期限 2025 年 10 月 6 日（月）（必着）

詳細 URL <https://www.ibaraki.ac.jp/m/recruit/>

問い合わせ先

茨城大学学術研究院応用理工学野都市システム工学
領域長 平田 輝満
〒316-8511 茨城県日立市中成沢町 4-12-1
Tel : 0294-38-5326
E-mail : terumitsu.hirata.a@vc.ibaraki.ac.jp

JST 地球規模課題対応 国際科学技術協力プログラム（SATREPS） 令和 8 年度 研究提案募集について

国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）は、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）において、公募説明会の情報を公開しました。

詳細情報 <https://www.jst.go.jp/global/>

問い合わせ先

国立研究開発法人 科学技術振興機構

国際部 SATREPS グループ

Tel : 03-5214-8085 E-mail : global@jst.go.jp

担当：土屋、森本

JST 日 ASEAN 科学技術・イノベーション協働 連携事業（NEXUS） 2025 年度 日本-タイ「バイオ テクノロジー」分野 国際共同研究提案の募集

国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）では、タイ 人材・制度開発・研究・イノベーションのためのプログラム管理ユニット（PMU-B）と協力し、日本とタイの研究者間での国際共同研究を支援することとなりましたので共同研究課題の提案を募集します。

詳細情報 <https://www.jst.go.jp/aspire/nexus/koubo/country/thailand.html>

問い合わせ先

国際部先端国際共同研究推進室 ASEAN 連携グループ

E-mail : joint-call-ja@jst.go.jp

(公社) 日本水環境学会運営組織 (令和 7 (2025) 年度)

会 長 亀屋 隆志 副会長 中島 典之 藤原 拓 江口 正浩 常務理事 栗栖 太	総務担当理事 佐野 大輔	運営幹事 浅田 安廣, 井口 晃徳, 大石 若菜, 小野寺 崇, 春日 郁朗, 蒲池 一将, 金田一 智規, 鈴木 裕識, 長谷部 吉昭, 羽深 昭, 端 昭彦, 濱 武英, 原 宏江, 久本 祐資, 日高 平, 藤井 学, 藤岡 貴浩, 藤林 恵, 三宅 祐一, 宮本 信一, 矢吹 芳教, 利谷 翔平, 渡部 春奈		
	財務担当理事 中井 智司	表彰委員会委員長 中島 典之	論文賞及び論文奨励賞選考委員会 大河内 由美子	
			年間優秀論文賞選考委員会 大河内 由美子	
			技術賞及び技術奨励賞選考委員会 中島 典之	
			水環境文化賞選考委員会 田畑 彰久	
	支部担当理事 島村 和彰	支部連絡委員会 島村 和彰		
	広報・渉外担当理事 越後 信哉	広報委員会 越後 信哉		
	編集担当理事 大河内 由美子	編集委員会 大河内 由美子	「水環境学会誌」特集企画編集部会 井坂 和一	
			「水環境学会誌」原著論文編集部会 金田一 智規	
			JWET 部会 井上 大介	
	産官学担当理事 田畑 彰久	産官学協力委員会 田畑 彰久		
	研究企画担当理事 見島 伊織	研究企画委員会 見島 伊織	セミナー企画部会 山口 太秀	
	年会・研究委員会担当理事 佐藤 久	年会・シンポジウム等検討委員会 佐藤 久	年会実行委員会	
			シンポジウム実行委員会	
			WET 実行委員会	
			WET 部会 竹内 悠	
男女共同参画推進担当理事 江口 正浩	男女共同参画推進委員会 江口 正浩			
国際担当理事 藤原 拓	国際委員会 藤原 拓	IWA 国内委員会担当 IWA ジャーナル担当		
	派遣・招聘委員会 藤原 拓			
	水環境国際活動賞・招聘賞選考委員会 藤原 拓			
学際連携推進担当理事 清 和成	学際連携推進委員会 清 和成			
事 務 局 事務局長（佐々木 正一） 職員（戸川 朋恵, 井原 陽子, 能勢 美也子）				

※理事, 幹事, 部会長, 各種委員はすべて非常勤であり, 無報酬である。

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は, 国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム (J-STAGE)」に掲載しています。 <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>